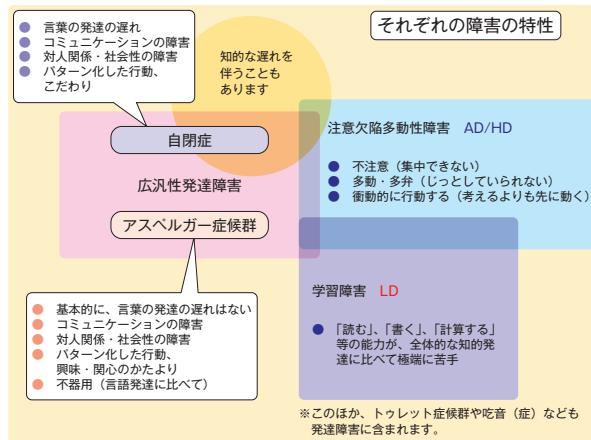


発達障がいは、先天的な脳の機能の違いであり、育て方や心の病気からなるものではありません。



引用：発達障害情報・支援センター

得意なところと苦手なところの差が目立つ方が多いです。アンバランスさが影響して、人によっては理解の仕方や感じ方、考え方などに違いが生じ、困り感や日常生活に生きにくさを感じる方も多いかもしれません。

自分にあった学び方や工夫を見つけていき、また周囲の方たちがこのような違いを理解することで、その人らしい自己実現や社会参加を目指すことができます。

「大人の発達障がい」とは、子どもの頃から違いは見られますが、成人してから発達障がいの特徴がより目立つようになり、困ることが増える方のことを指します。

関連情報

◆札幌市発達障がい支援情報

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifushi/hattatu/hattatu.html>

札幌市のサイトです。

札幌市における発達障がい支援に関する取組や普及啓発に関するパンフレット等を掲載しております。



◆札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる

<https://www.harunire.or.jp/ogaru/index.html>

札幌市にお住まいの発達障がいのある子ども、成人的への支援体制を整えていくことを業務としています。



◆発達障がいのある人たちへの支援のポイント「虎の巻シリーズ」

<https://www.city.sapporo.jp/shogaifushi/hattatu/toranomaki.html>

虎の巻はわかりづらいと言われる発達障がいの障がい特性と、家族や周りの人たちとの間で起こりがちな、思いの違いや対応法についても、イラストを用いて視覚化しています。



みんなで知ろう
発達障がい

作成：札幌市発達障がい者支援地域協議会

自閉スペクトラム症：ASD (広汎性発達障害、自閉症、アスペルガー症候群など)

() 内はICD -10の診断名

コミュニケーションの場面で、言葉や視線、表情、身振りなどを用いて相互的にやりとりしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手です。また、特定のことに強い関心を持っていたり、こだわりが強かったりします。また、感覚の過敏さや鈍感さを持ち合わせている場合もあります。



特徴の現れ方の一例

*特徴の現れ方には個人差があります

- ・具体的な表現の方がわかりやすい
→虎の巻1巻4Pまたは12P参照
- ・狭く深く知ることが得意
→虎の巻3巻4P参照
- ・触覚・聴覚・嗅覚・視覚などが極度に過敏もしくは鈍い
→虎の巻5巻14P 参照

注意欠如・多動症：ADHD (注意欠陥・多動性障害)

() 内はICD -10の診断名

落ち着きがない、待てない（多動性一衝動性）、注意が持続しにくい、作業にミスが多い（不注意）といった特性があります。多動性一衝動性と不注意の両方が認められる場合も、いずれか一方が認められる場合もあります。



特徴の現れ方の一例

*特徴の現れ方には個人差があります

- ・思いついたら即行動
→虎の巻4巻20P参照
- ・忘れ物、無くしものが多い
→虎の巻4巻22P 参照

「虎の巻シリーズ」



発達障がいのある方たちが社会で十分活躍できるようにと札幌市が発行している冊子です。詳しくは裏面をご覧ください。

限局性学習症：SLD (学習障害)

() 内はICD -10の診断名

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態を言います。



特徴の現れ方の一例

*特徴の現れ方には個人差があります

- ・文字の読み書きに時間と労力がかかる
→虎の巻4巻26P参照
- ・数の大小がわからない、計算が苦手

その他の発達障害

トゥレット症候群、吃音症なども発達障害の一つです。